

協定締結

議会

これらルートが本道
未来に貢献することを
」と話した。

裡類別に強化策

省道防災の方針性案

地震では、トラス構
造の特殊な長大橋が
脱落し、復旧が長
時間かかる傾向が見られる
ため、同性案では、自然災
害の種類を大雨・地震
・低温・その他(暴
雪)の5つに分け、
それぞれ強化すべき取り
組みを提示した。

小委員会ではこのほ
どを提議した。

か、データベースやAI
を活用し、迅速に災害を
見つけること、交通ネット
ワークの観点から道路
の災害リスク評価を実施
すること、重大な被災事
例から得た知見を道路工
程構造物点検要領に反映
することなども議論した。

リスク評価については今
後、リスク評価を自動で
してリーダーシップを
示すとともに、北海道会場の合
格者は技術士試験合格者を
発表した。

都市間連絡速度など 6つの観点から整理

広域道路ネットワーク 現状と課題

国土交通省は、高速道
路はじめとする広域道
路サービスレベルでは、都
市間の最短距離を最短所
とし、市内と諸外国との比較し
て、持続可能な地域経営
を目指すためには、主要
な都市・拠点間で時速60
km/h程度の連絡速度が
必要とされる。

国土交通省の説明による
と、国内の都市間連絡速
度は平均で時速62km/h。
また、多くの都市間連絡速
度へのアクセス性④
度も取りまとめて行
くべき観点は、①都市
間の円滑性・安全性
②緊急時の信頼性
③輸送の効率性⑤新た
なラーンの88%、ドイツの

80%程度の連絡速度が
必要とされる。

残る観点からは、大都
市圏での渋滞損失時間の
国際比較や、高速道路の
主要な交通拠点へのアクセス
状況などを説明した。

協定締結式では、石森
秀三道遺産協議会長が
「豊かな自然、地域の生
活の歴史など次世代に残
したい本道の宝物を、こ
れまで74件選定してき
た。シニツクバイウエ
イの活動とこれまで以上
に連携したい」と願った。

最後にベスト・シニ
ツクバイウエイズ・プロ
ジェクト2021とし
て、優れた取り組みを紹
介。十勝シニツクバイ
ウェイトカブチ雄大空間
による、2人が無料に
なる商品「ふたりばつち
パスポート」が最優秀賞
に輝いた。

技術士2次試験、北海道会場合格者
としてリーダーシップを
示すことで技術士として
活動の幅が広がり、経
済を支える社会基盤整備
をつかさどるリーダーと
しての資質が向上する。
ぜひ入会してほしい」と

呼び掛けている。

北海道会場の合格者は、
技術士試験合格者を発表した。

1951年に技術士制
度の普及、啓発目的と
して日本技術士会が誕
生。2011年4月に公
益社団法人となつた。北
海道本部(大熊正信本部
長)は全国にある8地域
本部の一つで、23年3月
1日時点の正会員数は1
022年度技術士第2次
試験合格者を発表した。

北海道会場の合格者は、
技術士試験合格者を発表した。

北海道本部では、「入会
することで技術士として
活動の発展に向けて活動
を展開している。

北海道本部では、「入会
などで技術士として
活動の発展に向けて活動
を展開している。

北海道本部では、「入会
などで技術士として<br